

災害時の主要連絡先

大学

池袋キャンパス

東京都豊島区西池袋 3-34-1

総務部総務課 03-3985-2253

学生部学生課 03-3985-2437

警備室 (24時間) 03-3985-2288

新座キャンパス

埼玉県新座市北野 1-2-26

総務部新座キャンパス事務局 048-471-6674

学生部学生課 048-471-6673

新座キャンパス門衛所 (24時間) 048-471-6600

関係官公庁

池袋消防署 03-3988-0119

池袋警察署 03-3986-0110

豊島区役所 03-3981-1111

新座消防署 048-482-0119

新座警察署 048-482-0110

新座市役所 048-477-1111



日頃の準備

大地震の発生は防げませんが、適切な準備を行うことで被害を軽減することができます。どんな備えが必要か考えておきましょう。

- 避難場所の確認 (学校付近および自宅周辺など)
- 家族との連絡方法および待合場所の確認
- 災害用伝言板サービスの確認と登録 (メール宛先などの事前登録が必要)
- 帰宅ルートおよび所要時間の確認 (災害時徒歩約 2.5 km / h)
- 緊急時メモの作成・記入
- 具体的な情報収集手段および緊急避難場所などの確認 (学校および通学途中)
- 転倒防止対策や緊急避難アイテムの確認
- 学校および友人などへの連絡方法の確認およびリスト整備

本マニュアルはホームページよりプリントアウトできるので、ご家族にも事前にお伝えください。
<https://spirit.rikkyo.ac.jp/eccs/SiteAssets/pdf/sg.pdf>

また、携帯電話等にも対応しておりますので、画面メモにて保存してください。ただし、緊急時は携帯電話等の充電が切れることもあるので、このしおりも合わせて携帯してください。
※インターネット接続時にパケット通信料がかかります。



緊急避難アイテム

日頃から準備・携帯しておく便利な物

- 現金 (小銭も)
- 健康保険証
- タオル・ばんそうこう・包帯
- 手回し充電ラジオ・ライト
- ティッシュ・ウエットティッシュ
- 非常用保温アルミシート
- チョコレート・あめなど
- 学生証・勤務員証 (免許証なども)
- アドレス帳 (家族、友人の連絡先を記入)
- 雨具 (カッパなど)
- 携帯充電用 USB ケーブル
- ポリエチレン製ごみ袋
- 油性マジックペン

その他非常時に必要なアイテム

- 貯金通帳
- 運動靴
- 卓上コンロ
- ひも・ロープ
- 予備電池
- スリッパ
- 使い捨てカイロ
- 印鑑
- 上着・下着・靴下
- リュック
- 懐中電灯
- ろうそく
- 缶切り・栓抜き
- 洗面用具
- 非常用食料・水

memo

※ 記入は油性のペンを使用してください。

もしもの時にあなたの身を守る

大地震対応 マニュアル

(防災のしおり)

学生・教職員用



立教大学
RIKKYO UNIVERSITY

2022 作成

1. 緊急連絡システム

(※本システムは本学学生および専任教職員を対象としています。)
緊急連絡システムとは、大規模地震が発生した際に、大学から自動的にみなさんの携帯電話等のメールアドレス宛にメールを送信し、みなさんの安否を確認するシステムです。送信する宛先は、入学時または履修登録時に届け出たご本人のメールアドレスですが、在学中に変更した場合は、必ず教務関係窓口(教務事務センター(池袋)、教務事務センター(新座)、独立研究科事務室、セカンドステージ大学事務室)に届け出てください(教職員は人事部門に届け出てください)。

なお、この緊急連絡システムが正常に機能するかを確認するために、年1~2回のテストを実施します。

また、この緊急連絡システムを利用して、緊急時の全学休講など重要なお知らせをすることもあります。

2. 連絡方法

大規模地震が発生したら、次のいずれかの方法で安否の状況を大学に報告してください。

携帯電話等が使用可能な場合

みなさんの携帯電話等へ送られてきた大学からのメールに返信してください(右図参照)。

携帯電話等が使用できない場合

- キャンパス内または周辺にいる場合……
このしおりの巻末にある「安否確認カード」を池袋キャンパス警備室、新座キャンパス門衛所に設置された「安否確認投入箱」に投函してください。
- キャンパス外にいる場合……
上記の「災害時の主要連絡先(大学)」に電話連絡してください(郵送も可。連絡先は上記参照)。

利用の準備 緊急連絡システムの利用にあたって、必要な準備

● 緊急連絡先として携帯電話のメールアドレスを登録する。

学生は入学時に大学に提出する「学籍関連事項整理票」に記入したメールアドレス、または科目コード登録時に申請したメールアドレスが登録アドレスになる。
教職員は人事部門に申請したメールアドレスが登録アドレスになる。

● メールを受信設定

e-ansin.comのドメインから送信されるメールを受信拒否しないよう、携帯電話等の設定を行う。

緊急連絡システム

From : xxxxxx@xxxxx.e-ansin.com
 To : xxxxxx@xxxxx.xx
 Date : 20xx年xx月xx日 xx:xx:xx
 Subject : [xxxxx]RIKKYO 安否確認/Safety check

○○さん宛てのメッセージ
 本メールは立教大学の学生・教職員宛てに立教学院緊急連絡システムから配信しています。
 東京または埼玉県東震度5強以上の地震が発生しました。
 Q1及Q2の回答を本メールに返信して下さい。

【回答方法/How to respond】

Q1→現在の状況 (Are you safe now?)

Q2→現在の居場所 (Where are you now?)

[Ex.1]

Q1に 1:無事 Q2に 1:自宅と答える場合 → 16

To answer as "Safe" (1) in Q1 and "at home" (6) in Q2 → 16

[Ex.2]

更にコメントを付けたい場合 → 16 ご心配なく

If you wish to add any comment. → 16 Don't worry, I'm safe.

- Q1.
- 1: 無事 Safe
 - 2: 軽傷 Slight injury
 - 3: 重傷 Serious injury
 - 4: 助けを求め Help wanted
 - 5: その他 Other
- Q2.
- 6: 自宅 at home
 - 7: 学内(池袋) on campus(Ikebukuro)
 - 8: 学内(新座) on campus(Niza)
 - 9: 移動中 on the way
 - 0: その他 Other

以上 That's all.

回答番号は半角と全角どちらでもOK

緊急連絡システムメールの件名は送信された安否確認メールの件名を引用してください。

17 → 文頭に質問の回答番号を入力

1: 無事 Safe 7: 学内(池袋) on campus(Ikebukuro)

安否確認カード

これは、大規模地震などの災害時に、携帯電話等による緊急連絡システム(別掲)の返信メールが大学へ送信できない場合に、大学へ届け出てもらおうための安否確認カードです。携帯電話が利用できない場合は、このカード部分を切り離し、必要事項を記入して、両キャンパスの警備室、門衛所に設置されている「安否確認投入箱」に投函してください。

学号	所属
ふりがな	
氏名	
現在の状況: 以下の該当する番号に○印を、() 内には自由記述をお願いします。	
1 無事である	
2 負傷している	
①本人/②家族	
3 住居が倒壊した	
①自宅/②自宅外(一人暮らし、親戚など)	
4 現在、仮住まいである	
5 その他大学へ知らせておきたいこと	
()	
6 当面の連絡先と連絡手段	
()	
提出日	年 月 日

地震発生直後

→ 揺れがおさまったら →

落ち着いたら① →

落ち着いたら②

地震発生

身を守る

今いる場所は
本当に安全？

○ YES
その場所を動かない

× NO
避難場所へ避難



学校へ安否連絡
(緊急連絡システムなど)



家族との安否確認

自宅に歩いて
帰れる？

○ YES
自宅へ

× NO
避難場所へ

POINT ▼

POINT ▼

POINT ▼

POINT ▼



大学にいるとき

- キャンパス内の建物は大規模な地震にも耐えられる構造になっているので、地震が発生したら、落ち着いて行動すること。
- 地震がおさまるまで外に出ないで、教室内で待機する。
- 避難口を確保するため教室のドアを開ける。
- 頭上からの落下物に注意して、机の下にもぐるか、カバン・衣類などで自分の身を守るようにする。机の下にもぐる場合はしっかりと机の足をおさえること。
- カーテンやブラインドを閉めることでガラスの飛散を防ぐ(ただし無理はしない)。
- 実験などで劇物等を使用している場合は特に注意を要する。
- 緊急時には大学から校内放送などで指示を行う。

心構え

- 落ち着いて、まず身の安全を確保する。
- 建物の傾き、壁のひびなどを確認する。
- 火災が起きていないか?火災の場合は自分の身が安全な範囲で周囲の協力を得ながら初期消火。また、消火が困難と判断した場合は、火から離れる。
- 負傷者はいないか?負傷者がいる場合は安全な範囲で周囲の協力を得ながら応急手当をし、事務局へ連絡。

避難場所へ移動する判断基準

- ガラス、黒板、テレビなどが倒れるおそれがなく、天井からの落下物や薬品の流出が無いと確認できた場合は、動かない方が安全である。

行動に移るときの注意点

- 火災の場合は煙を吸わないよう、タオルなどで口を覆う。
- どのルートで移動すれば安全か確認し、エレベーターは使わずに階段で移動。

安否確認

携帯電話等が使用できる場合

- 緊急連絡システムから自動送信されるメールに、その時点での状況を返信する。

安否確認方法は
裏面の詳細を確認

携帯電話等が使用できない場合

- キャンパス内または周辺にいる場合
このしよりの巻末にある「安否確認カード」を池袋キャンパス警備室、新座キャンパス門衛所に設置された「安否確認投入箱」に投函する。
- キャンパス外にいる場合
裏面の「災害時の主要連絡先(大学)」に電話連絡する。(郵送可。連絡先は裏面)

避難場所

キャンパスの建物内教室が避難場所となっています。状況により避難場所については大学から指示があります。各キャンパスの建物外の避難場所は以下の通りです。

池袋キャンパス

避難場所▶ タッカーホール前
第一食堂前、本館前、5号館前

新座キャンパス

避難場所▶ 多目的グラウンド、1号館前

帰宅する?学校に残る?

余震がおさまり落ち着いたら、自宅に帰るか検討する。交通機関が動いていない場合は歩いて帰宅することになる。その場合の目安は10km。10kmよりも遠い人は避難場所へ。また、テレビ・ラジオなどで正確な情報を収集しましょう。



通学中

- 周囲の状況に注意し、身の安全の確保を最優先とする。
- 塀、電柱、自動販売機などから離れ、落下物にも注意する。
- むやみに動かず安全を確保する。
- 被害状況を正しく把握する。
- 事前に家族と相談して決めた避難場所へ移動する。ただし、被災場所やその場の状況によっては安全を最優先し、別の避難場所へ移動する。

- 避難中は警察や消防の指示に従う。
- 避難は徒歩で、荷物は最小限に。
(火を扱っている場合は、身の安全を確認後、火の始末)
- 正確な情報収集に努め、なるべく集団で行動する。
- エレベーターを使用せず階段で避難する。
- 負傷者の救護や初期消火に協力する。

携帯各社の災害用伝言板サービス

事前の登録が必要です!(事前にテストをしてください)
携帯各社のQRコードはこちら



DoCoMo
https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_board/

au
<http://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengen/>

Softbank
<http://www.softbank.jp/mobile/service/dengen/>

Ymobile
<http://www.ymobile.jp/service/dengen/>

池袋・新座キャンパスから10kmの地図

